

# 個人健診用 オプション検査一覧



★ LOX-index ~ 脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク検査~

★ 各種アレルギー検査

(料金・詳細は別紙参照)

検査項目	検査対象	料金 (消費税8%込)	料金 (消費税10%込)
血液検査	腫瘍マーカー		
	肺がん (CEA CYFRA ProGRP)	5,550円	5,652円
	肝臓がん (AFP PIVKA-2)	2,980円	3,036円
	膵臓、胆道がん (CA19-9 DUPAN-2)	2,670円	2,720円
	前立腺がん (PSA)	2,050円	2,088円
	卵巣、子宮がん (CA125 SCC)	2,670円	2,720円
	消化器系セットマーカー (大腸・胃・胆道・膵臓・肝臓) (CEA AFP CA19-9)	3,600円	3,667円
	男性セットマーカー (大腸・肺・胃・膵臓・胆道・肝臓・食道・前立腺) (CEA AFP CA19-9 CYFRA p53抗体 PSA)	9,250円	9,421円
	女性セットマーカー (大腸・肺・胃・膵臓・胆道・肝臓・食道・卵巣子宮・乳) (CEA AFP CA19-9 CYFRA p53抗体 CA125)	9,250円	9,421円
	心臓病検査	慢性心不全バイオマーカー (NT-ProBNP)	2,160円
肝炎ウイルス検査	B + C型肝炎 (HBs抗原・HBs抗体・HCV抗体)	2,580円	2,627円
ペプシノーゲン		2,050円	2,088円
ヘリコバクターピロリ抗体検査		1,540円	1,568円
胃がんリスク層別化検査 (ABC 分類)	★詳細は裏面を参照	4,320円	4,400円
甲状腺機能検査 (FT4・TSH)		2,460円	2,505円

オススメ  
お得な  
セット

内臓脂肪測定検査	※ペースメーカー挿入者・妊娠中の方は検査出来ません。 ※腹囲 120cm 以上、65cm 以下の方は検査出来ません。	2,050円	2,088円
超音波検査	骨密度	1,020円	1,039円

要予約 TEL (0144)35-0080

大腸がん検査	便潜血 (2 日法)	1,620円	1,650円
低線量CT検査	肺がんCT	9,720円	9,900円
超音波検査	腹部 (胆のう・肝臓・腎臓・膵臓・脾臓) ※注	5,720円	5,826円
	頸動脈エコー	3,600円	3,667円
婦人科検診 ★水曜日 (AM 健康診断 / PM 婦人科) の実施となります。 ご希望の方は事前にお電話下さい。	乳がん検診 (マンモグラフィ 2方向)	6,780円	6,905円
	乳がん検診 (超音波)	5,550円	5,652円
	子宮がん検診 (内診+頸部細胞診)	2,560円	2,608円

※注：食事をしてきた場合は実施できません

# 各オプション検査内容

## ◆腫瘍マーカー (がん反応)

腫瘍マーカーとは悪性腫瘍の際に上昇する血液中の成分で腫瘍の存在、種類、進行度の推定に役立ちますが、正常組織でも作られており、癌に特異的とは限りません。陽性＝がん ということでも無く、陰性＝がんで無いとも言えるものではありません。陽性であれば癌の疑いが有るので、「二次検査を受けた方が良い」と理解して下さい。

腫瘍マーカー	検査内容
CEA	消化器系の腫瘍を中心に用いられるが、広範囲の癌で上昇。大腸癌、肺癌、胃癌、胆道癌等で有用。常習喫煙者でも上昇。
AFP	肝細胞癌に特異性が高い。ウイルス肝炎、肝硬変でも陽性となるが、悪性化の経過観察に有用。妊娠後期でも上昇。
CA19-9	膵臓癌に特異性が高いが胆道癌にも有用。膵炎、胆石、卵巣のう腫等の良性疾患でも上昇。
CYFRA	肺癌 特に扁平上皮癌で上昇。良性の呼吸器疾患でも上昇。
PSA	臓器特異性が高く前立腺癌の早期発見に有用。前立腺肥大でも上昇。
CA125	卵巣癌、子宮体部癌に有用。子宮内膜症、卵巣のう腫等の良性疾患や妊娠でも上昇。
p53 抗体	癌細胞の分泌する物質の濃度ではなく癌抑制遺伝子の変異の結果作られた蛋白に対する抗体で、比較的早期癌でも検出できる可能性や他の腫瘍マーカーとの重複が少ないのが特徴。広範囲の癌で上昇するが、食道癌、大腸癌、乳癌での陽性率が高い。

## ◆NT-proBNP 検査 (慢性心不全のバイオマーカー)

心臓の筋肉の伸展刺激や内圧上昇といった心臓に負担がかかっている時に分泌されるホルモンです。疲れやすい、動悸、息切れ、むくみといった症状のある方や虚血性心疾患、弁膜症、心筋症、不整脈のほか、高血圧、糖尿病等による”隠れ心不全”の発見に有用なバイオマーカーです。

## ◆ペプシノーゲン

胃粘膜の萎縮の程度、胃酸分泌機能や胃粘膜の炎症の程度を調べます。

## ◆胃がんリスク層別化検査 (ABC 分類)

ピロリ菌感染の有無を調べる「ヘリコバクター・ピロリ抗体検査」と胃炎の有無を調べる「ペプシノーゲン検査」を組み合わせる「胃潰瘍や胃がん等の胃の病気の危険度を A 群 = 低リスク群 (感染なし、胃炎なし) B 群 = 中リスク群 (感染あり、胃炎なし) C 群 = 高リスク群 (感染あり、胃炎あり) E 群 = 除菌群 (ピロリ菌の除菌治療を受けた方) に分類するものです。

## ◆低線量肺がん CT

肺の横断面を細かく輪切りにして見ることで、より早期の段階で小さな病変を見つける事を目的としています。胸部 X 線では生じてしまう心臓の重なりなど、死角になる部分も描出されます。ご心配される X 線の被ばく量は、胃バリウム検査の 5 分の 1 程度と非常に少なくなっています。寝台に寝ていただき 15 秒程度の息止めを 2 回行っていただきます。安心して簡易に受けていただける検査です。

## ◆頸動脈エコー検査

頸動脈は太い血管ですが、体表面から浅い所にあり観察し易いため、頸部に超音波探触子を当て血管の肥厚や動脈硬化性隆起物の有無を調べます。簡便かつ視覚的に血管の状態を診る事が出来ます。頸動脈はアテローム性動脈硬化の好発部位で血管壁肥厚度は脳血管疾患や虚血性疾患との関係も深く、検査により生活習慣病における全身の動脈硬化の進展度を評価できるため早めの治療や生活習慣病の修正につなげる事が出来ます。

